



第21回 日本社会福祉士会全国大会
社会福祉士学会 **岩手大会**

共生社会の創造

参加と自立を実現する地域社会とは

開催要綱

会期 2013年 7月6日(土)・7日(日)

会場

盛岡市民文化ホール『マリオス』・いわて県民情報交流センター『アイーナ』
ホテルメトロポリタン盛岡・ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

主催 社団法人 日本社会福祉士会・社団法人 岩手県社会福祉士会

第21回 日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会（岩手大会）

開催要綱・目次

○日本社会福祉士会全国大会の開催にあたって 社団法人 日本社会福祉士会 会長 山村 睦	3
○「共生社会の創造 ～参加と自立を実現する地域社会とは～」 社団法人 岩手県社会福祉士会 会長 千葉 昭好	4
（第21回日本社会福祉士会全国大会 ・社会福祉士学会（岩手大会）実行委員長）	
○第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会）の開催について	5
・第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会）開催要綱	6
・講師紹介	10
・第21回 社会福祉士学会	13
分科会発表申込要領	18
様式1：分科会発表申込書	19
様式2：自主企画シンポジウム申込書	21
様式3：レジュメの様式	23
・日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 全国大会プレ企画 「実践研究入門講座申込書」	24
・参加申込詳細 参加申込の手順（流れ）	25
参加申込書	32



岩手大会マスコット「ぎんてつくん」

第 21 回 日本社会福祉士会全国大会
社会福祉士学会（岩手大会）

開 催 要 綱



日本社会福祉士会全国大会の 開催にあたって

社団法人 日本社会福祉士会
会長 山村 睦

第21回全国大会を岩手県盛岡市で開催いたします。日本社会福祉士会が設立されてからこの21年の間、国民生活を取り巻く社会状況はさまざまに変化し、また東日本大震災を頂点とする多くの困難を経験してきました。そして未来に対する懸念材料も多々あります。

本大会のテーマは「『共生社会の創造』～参加と自立を実現する地域社会とは～」です。「共生社会を目指す」というスローガンは多く聞くことができますが、実際にその実現に向けてどのように進めているのでしょうか。社会福祉士として実践する立場から見れば「共生社会を目指す」ことが最終目標だということを感じ、また、ソーシャルワーク実践の延長上にそれが存在することを実感できるのではないのでしょうか。私たちは分野ごとの細分化された実践理論ではなく、ジェネリックな視座から様々な生活困窮にある人々に向かいます。それゆえに、「共生社会を目指す」ための最も近接したところに社会福祉士がいるのだと思います。「われわれが先頭に立って共生社会を目指そう」、そういう思いが本大会のテーマに込められています。

また、今大会は今までの社会福祉士会を振り返り、そしてこれからの社会福祉士会を考えつつ、着実に実行すべき目標を確認するのにふさわしい大会となるでしょう。2012年度に組織変更した連合体体制の基盤強化、同年度からスタートした新生涯研修制度や認定社会福祉士制度の定着、さらには2013年度に予定している公益社団法人への移行申請、東日本大震災被災者支援活動を踏まえた継続的支援のあり方検討、という諸課題に向かい、本会の活動が意味することを熟考し、その後のビジョンを具体的に描いて行く必要があります。

今後の日本社会にとって、現代は大変重要な時代であります。社会福祉士の活動がよりいっそう不可欠となります。そうした状況の中で、社会福祉士資格を「業務独占」と位置づけられるよう活動することが日本社会福祉士会の大きな役割であると思います。業務独占を前提とした社会福祉士の任用・配置の促進を図りつつ、この資格の価値を広く知っていただくことと、生涯研修をはじめとする日々の研鑽を重ねながら、社会福祉士の実践力を明らかにしていくことが大切です。また、社会福祉士会に入会し、会員一人ひとりが会の活動に参加することに多くの意味があることを、本大会を機会に未入会の皆さんに広く呼びかけ、その輪を広げていこうではありませんか。

一般社団法人岩手県社会福祉士会の皆様には、全国大会をお引き受けくださり、実行委員会を中心にして多くの関係者のご支援によって着実に準備を進めていただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。会員の皆様におかれましては、この記念すべき大会となる岩手大会を共に有意義な大会にすべく、多くのご参加をいただきますようお願いいたします。



共生社会の創造 ～参加と自立を実現する地域社会とは～

社団法人 岩手県社会福祉士会
会長 千葉昭好

(第21回日本社会福祉士会全国大会・
社会福祉士学会(岩手大会)実行委員長)

昨年、日本社会福祉士会発足20周年記念の岡山大会において、私たちは、「広げよう！社会福祉士の絆(きずな)」をテーマにこれまでの歩みを振り返り、これからの新たな決意を確認しました。

国内外の政治・経済が不安定さを増し、社会のつながりが頼りないものになっていく中で、人々が抱える様々な問題に社会福祉士はどのような役割を果たすことができるか。これからの社会福祉士の実践の在り方を議論したところです。

グローバル経済の大きなうねりが産業構造、雇用形態を根底から揺るがし、社縁、地縁、血縁の脆弱化とともに、生活困窮、孤立・無縁、自死などに象徴される社会が現出しています。

国民はこぞってデフレ脱却の経済対策と併せて、年金、福祉、介護等の不安解消を求め、政府は景気浮揚を図りながら財政再建を果たすという状況の中、超高齢化のピークを前にして、このジレンマがさらなる激動の時代を予感させます。低所得で社会的孤立に陥っている若者やお年寄り、子ども、障がい者などへの生活支援戦略はどうあればいいか。第21回岩手大会は、社会福祉士会結成20年をターニングポイントに、激動の中で支援を必要とする人々に連なるソーシャルワーカーとして、新たな一步の大会と位置づけられます。

東日本大震災・津波から間もなく2年になりますが、復興・まちづくりは、まだまだの状況ですし、原子力発電所の見通しはまったく立ちません。しかし、この災害で示された人々の「思いやり」「慈しみ」「つながり」などのエピソードに接するたびに涙が出ます。人間って素晴らしい、これが人間力だと思うのです。

岩手大会では、オプションではありますが、被災地を巡るツアーを企画しました。岩手大会のマスコット「ぎんてつくん」がご案内します。郷土の詩人宮澤賢治が思い描いたイーハトーブ岩手を銀河鉄道に乗って眺めてみませんか。岩手県社会福祉士会会員一同、皆さんのお越しを心からお待ちしています。

2013年3月5日

都道府県社会福祉士会会員各位

社団法人 日本社会福祉士会
会長 山村 睦
(公印省略)

第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会）の
開催について（ご案内）

拝啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会事業の推進につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年7月6日（土）から7日（日）にかけて、第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会）を岩手県盛岡市にある、盛岡市民文化ホール、いわて県民情報交流センター等で開催することといたしました。詳細は、別添「開催要綱」のとおりです。

本大会は「共生社会の創造 ～参加と自立を実現する地域社会とは～」をテーマに開催いたします。参加者一人ひとりがこの大会テーマに基づき実践課題を見出し、自己研鑽を深める機会としてご活用いただければ幸いです。

都道府県社会福祉士会に所属する会員数も36,000人を超え、全国各地において社会福祉推進の一翼を担い、各都道府県社会福祉士会の活動もますます充実してきています。今後も皆さまとともに、活動の更なる充実に向けて邁進してまいりたく、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。

末筆ながら、皆さまの一層のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

2013年3月5日

(所属長)

様

社団法人 日本社会福祉士会
会長 山村 睦
(公印省略)

第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会）の
開催について（お願い）

拝啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会事業の推進につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。おかげをもちまして、都道府県社会福祉士会に所属する会員数も36,000人を超え、全国47の都道府県社会福祉士会を通じて活動も順調に発展を続けております。

さて、本年も厚生労働省、岩手県、盛岡市、全国社会福祉協議会等のご後援をいただき、下記のとおり第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会）を岩手県盛岡市にある、盛岡市民文化ホール、いわて県民情報交流センター等で開催いたします。

本大会は、「共生社会の創造 ～参加と自立を実現する地域社会とは～」をテーマに、社会福祉士の役割と可能性について研鑽を深める機会とするものです。業務多忙の折、誠に恐縮に存じますが、貴下職員である社会福祉士の全国大会への出席について、特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

なお、プログラム等の詳細につきましては、都道府県社会福祉士会会員を通じてお目通しいただければ幸いです。

末筆ながら、貴職の一層のご清祥をお祈り申し上げます。

敬具

記

1. 日 時 2013年7月6日（土）～7日（日）
2. 場 所 盛岡市民文化ホール、いわて県民情報交流センター等
3. 名 称 第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会
4. 参 加 者 本会会員及び社会福祉関係者（約1,000人を予定）
5. 後 援 厚生労働省、岩手県、盛岡市、全国社会福祉協議会ほか（予定）

第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(岩手大会)

開 催 要 綱

1. 大会テーマ 「共生社会の創造 ～参加と自立を実現する地域社会とは～」

2. 大会主旨

本大会は、2011年3月に発生した東日本大震災からの復興のために、全国の多くの社会福祉士の皆さまにご多忙の中いち早く駆けつけていただき、岩手県被災市町村の地域包括支援センターなどの相談支援機関や各種福祉機関等にご援助、ご支援を賜ったことに対する感謝の大会とするとともに、より複雑化・多様化する福祉課題の解決を目指し、新たな実践モデルを確認する大会と位置づけます。

このため本大会開催目的のひとつとして、社会的排除防止の観点から、出自、障がい、性別、地位などに関係なく、暮らしやすい社会作りを推進するために果たすべきソーシャルワーカーの役割を、関連する職種と連携しながら確認します。また、ソーシャルワーカーによる災害支援から見えてきた課題を明らかにし、その対応策などの検討を進めるために、岩手県内の被災現場においてそれぞれの立場から被災者支援や生活再建等に関わってきたシンポジストを迎え、実践の中で実感した活動の有効性や限界などについて紹介をしていただきながら、災害時において社会福祉士に期待される役割や機能等について参加者とともに確認していきます。

さらに、本大会では、専門職による多様な課題解決手法を紹介いただきながら、暮らしやすい地域社会の構築について考えるために、基調講演では日本福祉大学の平野隆之先生から、トップダウン方式による支援と市民活動を中心としたボトムアップ方式による支援の違いなどについてお話しいただく予定です。

記念講演では、浄土思想から見る共生社会・共生世界観について、世界文化遺産に登録された平泉・毛越寺の藤里明久執事長よりお話しをいただきます。

全国の社会福祉士の皆さん、「参加と自立を実現する地域社会の創造」「災害ソーシャルワークの実践モデル」などさまざまなテーマを、みちのくいわてで語り合ひましょう。

3. 会 期 2013年7月6日(土)～7日(日)

4. 会 場 盛岡市民文化ホール『マリオス』・いわて県民情報交流センター『アイーナ』
ホテルメトロポリタン盛岡・ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

5. 主 催 社団法人 日本社会福祉士会、社団法人 岩手県社会福祉士会

6. 参加定員 1,000名

7. 参加対象及び参加費

(1) 都道府県社会福祉士会会員	9,000円
(2) 一 般	10,000円
(3) 学 生	4,000円

※入会手続き中の方は、会員扱いとなります。1日だけの参加も上記金額となります。

8. 懇親会費 会員・一般・学生とも 8,000円
 ただし、3月末日までの申込者は、7,000円

9. 申込・問合せ先

JTB東北 盛岡支店
 〒020-8525 盛岡市内丸2-5 (JTBビル1F)
 TEL 019-651-3333 FAX 019-652-5088

【後援】(予定・順不同・法人種類省略)

厚生労働省、岩手県、盛岡市、福祉医療機構、全国社会福祉協議会、社会福祉振興・試験センター、日本社会福祉教育学校連盟、日本社会福祉士養成校協会、日本介護福祉士会、日本ソーシャルワーカー協会、日本医療社会福祉協会、日本精神保健福祉士協会、日本介護支援専門員協会、岩手県社会福祉協議会、盛岡市社会福祉協議会、岩手県共同募金会、岩手高齢者・障害者支援ネットワーク、リーガル・エイド岩手高齢者・障がい者支援センター、成年後見センター・リーガルサポート岩手、岩手県医師会、岩手県歯科医師会、岩手県看護協会、岩手県医療ソーシャルワーカー協会、岩手県介護福祉士会、岩手県精神保健福祉士協会、岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会、岩手弁護士会、岩手県司法書士会、岩手県行政書士会、岩手県介護支援専門員協会、岩手県ホームヘルパー協会、岩手県医療ソーシャルワーカー協会、岩手県介護老人保健施設協会、いわてリハビリテーションセンター、岩手県認知症高齢者グループホーム協会、岩手県立大学、盛岡医療福祉専門学校、東北福祉大学、日本福祉大学、福祉新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、岩手日報社、岩手放送、岩手めんこいテレビ、NHK盛岡放送局、岩手朝日テレビ、テレビ岩手、ラジオFMもりおか、もりおかケーブルテレビ

【会場周辺案内図】



プ ロ グ ラ ム

第1日目（7月6日：盛岡市民文化ホール『マリオス』 盛岡市盛岡駅西通2-9-1）（敬称略）

9：15～11：45	全国大会プレ企画「実践研究入門講座」
11：30～	受付開始
12：30～13：00	開会 主催者挨拶 岩手県社会福祉士会 会長 千葉昭好 （第21回大会 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会）実行委員長） 来賓挨拶 来賓紹介
13：00～13：50	講演「これからの社会福祉士への期待」（仮題） 講師 厚生労働省 社会・援護局
13：50～14：50	基調講演「共生社会の創造 ～参加と自立を実現する地域社会とは～」 講師 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授 平野隆之
14：50～15：05	休憩
15：05～17：45	シンポジウム「共生社会の創造 ～参加と自立を実現する地域社会とは～」 コーディネーター 日本福祉大学 教授 平野隆之 シンポジスト NPO法人地域生活支援ネットワークサロン （登壇順） 事務局代表 日置真世 岩手県立高田病院 病院長 石木幹人 岩手県立大学 教授 狩野 徹 岩手県社会福祉士会 阿部孝司
17：45～17：55	翌日のインフォメーション等
17：55	第1日目終了／移動
18：30～20：45	懇親会 ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

第2日目（7月7日：盛岡市民文化ホール『マリオス』 盛岡市盛岡駅西通2-9-1
いわて県民情報交流センター『アイーナ』 盛岡市盛岡駅西通1-7-1
ホテルメトロポリタン盛岡 盛岡市駅前通1-44）

9：30～12：30	分科会
12：30～13：30	休憩
13：30～15：00	記念講演「浄土思想から見る共生社会・共生世界観について」 講師 毛越寺執事長 藤里明久
15：00～15：20	大会宣言「参加と自立を実現する地域社会を目指して」（仮） 引継式（次回開催 鹿児島県） 閉会の辞
15：20	閉会
15：45	オプションツアー出発（マリオス1F）

《講師および出演者紹介(登壇順・敬称略)》



平野 隆之 (シンポジウム／コーディネーター)

現 職：日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授

略 歴：1955年大阪府に生まれる。社会福祉学博士。大阪市立大学商学部卒業、大阪市立大学大学院生活科学研究科後期課程単位取得退学。1985-1995年名古屋経済大学経済学部、1995-1999年名城大学都市情報学部、1999年日本福祉大学赴任、2001年～日本福祉大学福祉社会開発研究所所長、2003年マンチェスター大学P S S U R 客員研究員、2004年南京大学客員教授、2007年～日本福祉大学総合研究機構長、2009年～日本福祉大学学長補佐、2011～高浜市 人にやさしい街づくり及び障害者施策審議会委員長

主な著書：『地域福祉の展開』（共著）,放送大学教育振興会,2010
「共生型プログラムの新たな動向と都道府県における地域福祉政策・全国都道府県調査と熊本県・高知県の比較から」
『地域福祉推進の理論と方法』,有斐閣
『日本の地域福祉』（25）（共著）,日本地域福祉学会,2012
他多数



日置 真世 (シンポジウム／シンポジスト)

現 職：NPO法人地域生活支援ネットワークサロン

略 歴：北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターを平成23年3月31日に任期終了のため退職し、現在はフリーの「場づくり師」として活動中。NPO法人地域生活支援ネットワーク事務局代表。斜里町生まれ、釧路育ち。重度障がいの長女を筆頭に3人の娘の母。地域にシステムを作ったり、人を育てたり、資源を発掘開発したりする福祉分野のコミュニティワーカーとして活動。自称「緩やかな市民革命家」。

主な著書：『おいしい町作りのためのレシピ50』,CLC,2009
「釧路市の自立支援プログラムの実践にみる地域福祉とセーフティネット」,2011
「社会的に排除された若者の移行課程分析の仮題」,社会教育・生涯学習一般発表要旨,2009
他多数



石木 幹人 (シンポジウム／シンポジスト)

現 職：岩手県立陸前高田病院院長（医師・医学博士）

略 歴：1948年生まれ。早稲田大学理工学部・大学院を中退後、東北大学医学部入学。その後、呼吸器外科医となり、89年に岩手県立中央病院（盛岡市）勤務を経て、2004年から現職。地域医療に力を注ぎ、東日本大震災による津波で奥様を亡くされるなど、多大な被害を受けながらも、福祉や介護と連携した地域の拠点を目指して地域医療システムの再構築を目指している。



狩野 徹 (シンポジウム／シンポジスト)

現 職：岩手県立大学社会福祉学部福祉経営学科教授

略 歴：1957年神奈川県生まれ。1981年横浜国立大学工学部建築学科卒業。1991年東京大学工学系研究科建築学工学博士,財団法人老人福祉研究所,1999年より岩手県立大学に勤務,2005年より現職、東日本大震災後、東大研究チームとコミュニティケア型の仮設住宅建設に携わる。

主な著書：『環境と行動』（共著）,朝倉書店,2008

『新・痴呆性高齢者の理解とケア』（共著）,メディカルレビュー社,2004

他多数



阿部 孝司 (シンポジウム/シンポジスト)

- 現職：岩手県社会福祉士会会員、社会福祉法人カナンの園・生活介護ヒソプ工房施設長・サービス管理責任者
- 略歴：岩手県知的障害者福祉協会副会長、岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会幹事、岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会中央ブロック副会長、盛岡広域圏障害者自立支援協議会地域移行分科会会長、障がい者地域生活サポート推進ネットワーク協議会（もりきたエコムネット）会長、NPO法人Yai-Yaiぐるんば理事、NPO法人成年後見センターもりおか運営委員、盛岡峰南高等支援学校評議員、社会福祉法人盛岡いのちの電話評議員、岩手県社会福祉士会盛岡ブロック研修委員、盛岡大学短期大学部非常勤講師、盛岡医療福祉専門学校非常勤講師



藤里 明久 (記念講演)

- 現職：岩手県平泉文化遺産 毛越寺 執事長
- 略歴：1950年（昭和25年）生まれ、平泉町出身、岩手県立一関第一高等学校卒業
- 東京理科大学理学部化学学科卒業、毛越寺事務局において法務部長、事業部長、財務部長を務め、現在は毛越寺執事長、毛越寺一山大乗院住職
- 平泉の世界遺産登録の推進に関わり、講演やシンポジウムのシンポジストなど多数。また、国の重要無形民族文化財の「毛越寺延年の舞」の名手としても活躍。

第21回 日本社会福祉士学会

1. 開催のねらい

「共生社会の創造～参加と自立を実現する地域社会とは～」に沿って、以下のねらいを設定しています。

- (1) 3月11日に発生した東日本大震災によって、多くの方々が大切にしていた家族や友人を亡くしました。それはとても悲しいことではありますが、この大震災を契機として、被災地ではたくさんの課題が明らかになりました。例えば、大震災の発生時に全国から駆けつけたたくさんの支援者を受け入れる組織を作ること、あるいは、社会福祉士以外の専門職とどのように連携していくかということ、そして、刻一刻と変わる福祉ニーズにどう対応していくかということなどです。

大震災が発生して支援を必要としている人々は大勢いるのに、支援者の目にとまり、救える人々がいかに少ないことか、いつも私達に投げかけられている大きな課題です。

本大会では、社会的に孤立したり弱い立場に置かれている人々に寄り添い、その人々に必要な支援を確実に、効果的に届けていく方法を学びます。そのことを通して、社会福祉士の果たすべき役割が明確になり、専門職観を新たにする契機となるでしょう。

- (2) 生涯研修制度の6領域（社会福祉士がとらえる「権利擁護」「生活構造」「相談援助」「地域支援」「福祉経営」「実践研究」）に即したそれぞれの発表を通して、これからの社会福祉士実践についての議論を共有します。
- (3) さまざまな実践現場における社会福祉士の活動に基づいた発表と質疑応答、意見交換を踏まえて、社会福祉士が目指す方向性を明らかにし、専門性の向上を図ります。

2. 分科会の構成

A分科会 「共生社会の創造～権利擁護の現状と課題」（社会福祉士がとらえる「権利擁護」）

【会場：マリオス18F 183～186会議室】

人権の擁護と社会正義の原理は、ソーシャルワーク実践の基盤である。人々が自らの権利を主張し、権利を獲得していく過程を重視しつつ、暮らしやすい社会を実現するためには制度やネットワークの活用のみならず、ソーシャルアクションや市民参加による権利擁護システム構築が求められる。さまざまな課題を抱える人々が、安心して、その人らしい生活を送ることができるように、社会福祉士が果たすべき役割・機能について考える。

発表例

- 権利擁護の取り組み実践と課題
- 権利擁護にかかわる多職種連携やネットワーク
- 成年後見制度・日常生活自立支援事業の課題と展望
- DV・虐待事例など具体的ケースへの援助
- 社会的排除とソーシャルインクルージョン
- 権利擁護への住民参加の取り組み・推進事例

B分科会 「共生社会の創造～生活構造の理解」 （社会福祉士がとらえる「生活構造」）

【会場：マリオス18F 188会議室】

生活課題は、社会との関わりの中で起こるとされている。社会の価値観に生活者は影響を受けやすいため、生活者と生活環境の関わりを見据えながら、社会福祉士は、生活構造を的確に分析・把握できる能力が求められる。人と環境との相互作用として生活全体をとらえ生活を動的に理解した上で、問題の背景や将来への見通しをも含めた支援を展開することが社会福祉士に求められている。「生活とは何か」「自立とは何か」「参加とは」を手がかりに、社会福祉士が果たすべき役割・機能について考える。

- 発表例**
- 生活問題の重層化・長期化・多様化への取り組み
 - 利用者の多様なニーズ把握に貢献するアセスメントシート
 - 若者の雇用環境、低所得者、失業問題など新たな生活課題への取り組み
 - 親子で抱える負の連鎖、教育機会の不均等、中途退学等など教育機会の確保
 - 滞日外国人等の生活問題への対応

C分科会 「共生社会の創造～ソーシャルワークが果たす役割～」 （社会福祉士がとらえる「相談援助」）

【会場：アイーナ8F 803会議室】

社会福祉士には、専門職としての「価値」「知識」「技術」に基づいた相談援助が求められる。このため、「生活の質」「自立」「参加」など、生活のさまざまな側面に着目していく必要がある。また、社会福祉士の活動範囲も広範となっている。潜在的な福祉ニーズを抱える者へのアウトリーチや地域や組織への働きかけ、さまざまな職種との連携までもが相談援助活動に含まれる。多様な分野で活躍する社会福祉士の機能・役割について考える。

- 発表例**
- 援助困難事例と家族療法
 - 問題解決課程で発生した専門職のジレンマ
 - 社会からの逃避と再参加にむけた支援法
 - 施設における利用者支援の実際と課題
 - クライアントを発見するアウトリーチの実際

D分科会 「共生社会の想像～地域の力と地域開発」 （社会福祉士としての「地域支援」）

【会場：アイーナ8F 804A会議室】

社会福祉士には、サービスが総合的かつ適切に提供されるよう、地域に即した創意工夫が求められている。地域を基盤とした支援の展開が重要視される現在、人々が生活する地域の環境・資源等が変化している。個人・家族を取り巻く環境としての地域に働きかけ、変革を促し、新たな地域のつながりをつくるために、社会福祉士に求められる機能・役割について考察する。

- 発表例**
- NPO法人によるあらたな福祉実践
 - 地域における生活困難者のサポート体制づくりと実践
 - 地域における多職種ネットワーク形成活動

- 社会的排除に関する実態把握とその支援
- 社会資源の効果的活用と新たな資源創設活動
- 独立型社会福祉士による実践

E分科会 「共生社会の創造～これからの福祉経営」（社会福祉士がとらえる「福祉経営」）

【会場：アイーナ8F 804B会議室】

持続可能な社会保障制度確立のために、制度の根本的見直しが検討されている。景気低迷の影響は福祉サービスにも影響を与え、サービスにかかる人件費の割合は減少している。このため、社会福祉分野の良質な人材確保に困難が生じている。多様な経営主体が参画する中で、クライアントと職員双方の生活の質を安定的に保障することが求められている。また、クライアントの満足感を満たすことができるサービスを提供するために、福祉サービスにおける品質管理は経営上の課題となっている。

発表例

- 各種法人の現状と課題
- 各種法人における品質管理の手法
- 人材育成・人事考課と職場管理の取り組み
- 職場における業務改善・業務開発
- 苦情対応やリスクマネジメントの現状と課題
- 外国人労働者および緊急雇用対策における失業者の介護労働市場への参入における課題
- 公益法人のあり方と経営実践

F分科会 「共生社会の創造～実践とその方法の見える化を目指す」（社会福祉士がとらえる「実践研究」）

【会場：ホテルメトロポリタン盛岡4F 岩手の間】

社会福祉士としてより質の高い支援を行っていくためには、自らの実践を振り返り、評価・検証し、研鑽を繰り返すことによって力量を向上していくことが不可欠である。また第三者に対して、援助の意義や効果を根拠とともに適切に説明できる能力も求められる。さまざまな課題に取り組む社会福祉士の実践内容を検討することによって、社会福祉士が取り組んでいくべき援助活動について考察する。

発表例

- 社会福祉士の実践活動とその評価
- 社会福祉士養成教育における実習指導の現状と課題
- スーパービジョンや研修に関する実践報告
- 災害ボランティア等における社会福祉士の取り組み
- 出所者支援における社会福祉士の取り組み
- 犯罪被害者支援における社会福祉士の取り組み
- 就労支援における社会福祉士の取り組み

G分科会 「自主企画シンポジウム」

【会場：ホテルメトロポリタン盛岡4F 姫神の間】

会員の自主的な企画によるシンポジウムです。社会福祉実践にかかわる内容であれば、テーマ・形式は問いません。養成機関と現場との連携、多職種ネットワーク、地域で検討されている課題、各都道府県社会福祉士会での効果的な研修・研究の実践など、参加者とともに討議できる機会を大いに活用してください。なお、他の分科会発表と申込要領が異なる部分がありますので、ご注意ください。

H分科会 岩手特別分科会

【会場：アイーナ8F 812研修室】

「共生社会を目指して～被災県民の生活を支えるネットワークと新たな挑戦～」

岩手県では、一昨年3月に発生した東日本大震災からの生活再建と復興が大きなテーマになっている。今回の大震災では、4千名以上の方々が亡くなられ、未だに行方不明者が千名を超えている状況だ。一方、被災地では命は助かったものの、住居、学校、病院、福祉施設など、多くの生活基盤を失った住民も多い。

震災直後は、失われた生活基盤の代替として、対症的に必要支援物資の提供、医療的支援などを行っていたが、被災者のトータルな生活・福祉ニーズに答えるには限界があった。このため、岩手県社会福祉協議会が中心となって、岩手県に対し職種を超えた専門職の連携による災害派遣福祉チームの創設を要望した。この要望を受けて岩手県は、厚生労働省に対して全国的な体制整備を求めるとともに、岩手県立大学などと連携し、DCATの発足に向けた検討を開始し、現在、全国初の福祉版災害派遣チームの設立に向けた準備が進むとともに、担うべき活動内容等が明らかになりつつある。

この分科会では、それぞれの諸職種に応じた災害支援の現状と課題から見える新たな挑戦をテーマに、岩手県内の災害現場においてそれぞれの立場から被災者支援や生活再建等に関わってきたシンポジストを迎え、実践の中で実感した活動の有効性や限界などについて紹介をしていただきながら、災害時において社会福祉士に期待される役割や機能等について参加者とともに確認していく場とする。

進行	菅原 博	(中山の園管理センター所長／社会福祉士)
コーディネーター	佐藤 慶之	(地域生活支援センターカシオペア所長／社会福祉士)
シンポジスト	内藤 和宏	(岩手県復興局生活再建課主査／社会福祉士)
	小野 仁志	(レスパイトハウス・ハンズ会長／社会福祉士)
	西尾 卓樹	(災害派遣福祉チーム／社会福祉士)
	白畑 勇	(東日本大震災子ども支援センター岩手県事務所長／社会福祉士)

I分科会 海外研修報告会

【会場：ホテルメトロポリタン盛岡4F 早池峰の間】

前半は、(財)社会福祉振興・試験センター主催の「社会福祉士・精神保健福祉士海外研修・調査」

の2012年度派遣者のうち、社会福祉士として派遣された者による海外での社会福祉実践についての報告を行う。後半は、国際委員会企画として、昨年に引き続き「海外のソーシャルワーカー資格」と題したシンポジウムを開催し、ソーシャルワーク資格制度のあり方を切り口に海外におけるソーシャルワーカー養成のあり方を把握するとともに、日本における社会福祉士資格のあり方を考える機会とする。

3. 大会プレ企画『実践研究入門講座』について

日時：2013年7月6日（土） 9：15～11：45

会場：アイーナ8F 812研修室

(1) ねらい

日本社会福祉士会・学会運営委員会では、社会福祉士が自ら日々の実践を振り返り、より良いソーシャルワークを展開すること、また会員の実践研究能力を高め社会福祉士学会での発表や研究誌への投稿につながるよう、全国大会の開催に合わせて「事例研究ワークショップ」と「実践研究ワークショップ」を隔年で開催してきました。

本年度は、内容はそのままに「実践研究入門講座」と名称を改め、都道府県社会福祉士会会員が本会の社会福祉士学会で日頃の実践をまとめて発表したり、研究誌『社会福祉士』に論文・実践報告として投稿したりする際の方法や考え方など、いわば実践研究のイロハを学びます。たとえ発表や論文執筆がゴールでなくても、日々の実践に研究的な視点を持ちながらあたる姿勢は「最良の実践を行う責務」（倫理綱領）の具現化でもあります。限られた時間ですので、入門的なプログラムとしますが、マンネリを打破し、研究的要素を加味した実践を志向している方、発表や執筆を通して日々の実践を総括してみたい方は、是非ご参加ください。

(2) 対象者

- ・都道府県社会福祉士会会員の方のみご参加いただけます。（入会手続き中を含む）

(3) 定員

- ・先着50名（定員になり次第、締め切ります）

(4) 参加費

- ・2,500円（資料代込）

(5) 申込方法

申し込み方法等の詳細は、本開催要綱24ページをご参照ください。

★分科会発表採用者、プレ企画参加者は岩手大会の参加申込みが必要です。

★分科会発表者と発表テーマは5月下旬頃、社団法人日本社会福祉士会ホームページに掲載します。

第21回 社会福祉士学会 分科会発表申込要領

下記の要領で分科会の発表者を募集します。奮ってお申し込みください。

	個人発表 (A～F分科会)	自主企画シンポジウム (G分科会)
発表資格	都道府県社会福祉士会会員に限ります。 会員以外の方との共同研究の場合、発表要旨に共同研究者名を記すことはできますが、発表者は会員に限ります。 ※分科会発表採用者は、全国大会の参加申込みが必要です。	
申込数	一人一発表です。 個人発表と自主企画シンポジウムの両方への申込みはできません。 ※既に他学会等で発表したものと同じ内容の発表はご遠慮願います。 (都道府県社会福祉士会における学会等での発表は除きます)	
申込様式	様式1「第21回社会福祉士学会分科会発表申込要領」(19ページ) ※必ずA4、1枚に納めてください。	様式2「第21回社会福祉士学会分科会発表申込要領 自主企画シンポジウム申込書」(21ページ) ※必ずA4、1枚に納めてください。
申込	〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2F (社)日本社会福祉士会 学会運営委員会 担当:楠本(くすもと) TEL 03-3355-6541 FAX 03-3355-6543 申込受付は2013年3月1日(金)からです。郵送またはFAXにてお申し込みください。	
締切	郵送:2013年3月29日(金) 消印有効 FAX:2013年3月29日(金) 必着	
審査	申込数・内容等を勘案・審査し、学会運営委員会が採否を決定します。 採用にあたっては、実践にもとづく発表・シンポジウム企画を優先することがあります。 内容等については、学会運営委員会が助言をする場合があります。 採用数が定数に満たない場合、追加募集する場合があります。	
採用数	採用数:約30発表 発表分科会は、原則として申込者の希望を優先しますが、テーマ・内容・応募数を勘案し、他の分科会で発表をしていただく場合があります。	採用数:1企画
通知	期日:2013年4月22日(月) 上記期日までに申込者に個別に採否を通知します。	上記期日までに、申込書に明記された連絡担当者に採否を通知します。
レジュメ提出	採用された方は様式3(23ページ)にしたがって、レジュメを作成してください。 提出されたレジュメはそのまま版下原稿として使用しますので、ワープロ等で作成した鮮明な原稿を提出してください。 提出先:(社)日本社会福祉士会 事務局 (申込時のレジュメ提出はありません。) 期日:2013年5月15日(水) 消印有効 期日までに提出のない場合には、採用を取り消し、発表を認めません。	
発表	時間配分: 一発表30分(発表15分、質疑応答15分)です。 ※発表は口述発表です。機材の使用はできません。 レジュメを活用し、当日資料の配付は必要最小限にとどめてください。	時間配分: シンポジウム全体を3時間以内で企画してください。シンポジストの人数および発表やフロアとの質疑等の時間配分は自由です。 本シンポジウムでは、パソコンやプロジェクターを持ち込んでの機材使用が可能です。その場合、会場の関係上、持ち込み料が発生する場合がありますのでご注意ください。
	当日資料:当日配付する資料がある場合は、各自で300部ご用意ください。 学会運営委員会および大会実行委員会でのコピー対応はしません。	

※申込書が届きましたら、受領ハガキにてご連絡します。

※申込様式1～3は本会ホームページからダウンロードできますのでご利用ください。

様式1 第21回社会福祉士学会 分科会発表申込要領

ふりがな 氏名	所属する都道府県社会福祉士会名： 会員番号：
所属先名称	職種または役職
連絡先（自宅・勤務先）	
住所：	TEL 　　　： メールアドレス：
発表テーマおよび発表内容の概要（注1）	
<p>テーマ：</p> <p>発表希望分科会：</p> <p>共同研究（発表）者：</p> <p>研究目的：</p> <p>研究方法：</p> <p>倫理的配慮：</p> <p>結論（まとめ）：</p> <p>同様のテーマでの発表履歴：</p>	
学会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項：	

*（注1）の欄は、審査対象となりますので、具体的に記入してください（特に結論部分）。

様式1の記入例 第21回社会福祉士学会 分科会発表申込要領

ふりがな 氏名 ふくし あきこ 福祉 明子	所属する都道府県社会福祉士会名： <input type="checkbox"/> ▽ 会員番号：88888
所属先名称 ○△□□▽	職種または役職 ○△□□▽
連絡先（ <input checked="" type="checkbox"/> 自宅・勤務先）	
住所：〒888-8888 □□県○○市△△△	TEL：□□□-□□□□-□□□□ メールアドレス：○○○○@○○○○○○○○○○
発表テーマおよび発表内容の概要（注1）	
<p>テーマ：老人福祉施設におけるオンブズマン活動の検証とあるべき役割・機能について</p> <p>発表希望分科会：<input type="checkbox"/></p> <p>共同研究（発表）者：なし</p> <p>研究目的：○○県のある老人福祉施設では、利用者の権利擁護とサービスの質の向上を図るためにオンブズマン制度を導入して4年が経過した。その制度は、利用者とサービス事業者の関係調整機能というよりも、利用者の声の代弁と改善への提言に主眼がおかれている。しかし、利用者の声をオンブズマンが代替するよりも、本来的には利用者本人が施設に意見や苦情を言えることが望ましい。老人福祉施設のオンブズマン活動の現状を振り、あるべきオンブズマンの機能・役割について考察していきたい。</p> <p>研究方法：①オンブズマン活動の方法について整理する。②意見・苦情を内容や性格により分類する。③問題の解決方法について整理し、④そこから見えてきた問題点や課題を明らかにする。検討の範囲は、意見箱、巡回相談、施設点検、在宅サービス利用者へのアンケート、職員へのサービス評価アンケート、オンブズマン協力員の活動などである。法人のオンブズマンの機能・特徴を厚生労働省の「苦情解決のしくみ」の指針などとの比較において明らかにする。</p> <p>倫理的配慮：今回、調査にご協力頂いた老人福祉施設の利用者に対し、本研究の趣旨と内容について文書で説明した。また、調査への協力は任意であること、プライバシーの保護ならびに事業所・個人を特定できるようなデータの公表をしないこと、研究目的以外にデータを使用しないことを文書で伝え、調査協力の承諾を得た。</p> <p>結論（まとめ）：オンブズマンが利用者の声の「代弁」機能を果たしているのは、①選択肢がなく利用者が対等に事業者に向かい合えない。②利用者の意識は個人の権利を主張するまで成熟していないことが背景にある。意見や苦情は、施設の整備・サービスの不満や職員の対応の不適切、入所者同士の対人関係の問題など匿名による「要望レベル」「請求レベル」の要望が大半である。オンブズマンの介入がなくても利用者の声が施設運営に反映され問題解決に利用者が参画するしくみがあれば対処できる部分が多い。しかるに、オンブズマンは利用者の不満の捌け口としての緩衝材の役割を期待されている。意見や苦情の解決を本来の取り組むべき部署に返しそこで対処するよう指摘することが重要である。オンブズマンは法人全体の活動を包括的に捉え、第三者の立場から利用者の職員が言えないことも各部署のトップに進言できる機会をもつ法人唯一の権利擁護、サービス向上のための機関である。利用者の代弁機能に留まらず、オンブズマン運営規則に規定された権限を最大限に発揮し、利用者の声を育て施設運営に反映させていけるよう寄与することが期待されている。</p> <p>同様のテーマでの発表履歴：なし</p>	
学会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項：	
特になし	

*（注1）の欄は、審査対象となりますので、具体的に記入してください（特に結論部分）。

<本記入例は、本人の了解を得て、過去の発表者の申込書記載内容を掲載しています。>

様式2 第21回社会福祉士学会 分科会発表申込要領 自主企画シンポジウム申込書

連絡担当者	ふりがな 氏名	所属する都道府県社会福祉士会名：		
	所属先名称	会員番号：		
		職種または役職		
	連絡先（自宅・勤務先）			
	住所：	TEL	:	
		メールアドレス：		
シンポジウムテーマおよびシンポジウムの概要（注1）				
テーマ：				
シンポジウムの目的：				
期待する成果：				
時間配分：				
<氏名> <都道府県社会福祉士会名> <会員番号> <所属>				
コーディネーター：				
シンポジスト				
:				
:				
:				
:				
:				
使用希望の機器の有無： 有（ ）・ 無				
会場の後方まで見えない場合がありますので機材の使用は必要最小限とし、できるだけ印刷した資料をご用意ください。本シンポジウムの場合は、パソコンやプロジェクターを持ち込んでのパワーポイント使用が可能ですが、その場合、機材の設置は発表者でお願いします。また、会場によっては持ち込み料が発生する場合がありますのでご注意ください。				
（スクリーンは会場で用意します）				
学会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項				

*（注1）の欄は、審査対象となりますので、具体的に記入してください。

様式3 (レジュメの書式)

テーマ			
所属する 都道府県社会福祉士会名	社会福祉士会	会員番号	
所属先名称			
発表者氏名			
(共同研究者氏名)			

《様式3の作成上の注意》

1. 本様式の提出は、分科会発表が「採用」となった方のみです。
分科会発表への申し込みの時点では、レジュメの提出は必要ありません。
2. レジュメの様式は、A4版縦長2枚以内とします。1枚目の上部には必ず本「様式3」を使用し、必要事項をすべてご記入ください。
3. 本様式の体裁は、以下の通りです。
フォント：テーマや氏名を記載する枠内および本文中の見出しはゴシック体とし、本文は明朝体でご記入ください。また、文字の大きさは10ptで統一してください。
文字数：文字数は自由としますが、印刷の関係上、左の余白を25ミリ、右および上下の余白を20ミリ以上空けてください。
4. テーマは、採用決定時のテーマを記載してください。
5. 提出されたレジュメは抄録集の版下として使用しますので、ワープロ等で作成した鮮明なものをお送りください。
6. レジュメ全体を統一するため、本レジュメは事務局で若干の修正を加える場合があります。あらかじめご承知おきください。
7. 当日配付する資料がある場合は、各自で300部ご用意ください。大会会場での印刷はできません。
8. 共同研究者が都道府県社会福祉士会会員の場合は、氏名、会員番号、所属する都道府県社会福祉士会名を記載して下さい。役職名の記載は必要ありません。

第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会） 全国大会プレ企画『実践研究入門講座』

日本社会福祉士会・学会運営委員会では、社会福祉士が自ら日々の実践を振り返り、より良いソーシャルワークを展開するとともに、実践研究能力を高め社会福祉士学会での発表や研究誌への投稿につながることを目的に、全国大会の開催に合わせて「事例研究ワークショップ」と「実践研究ワークショップ」を隔年で開催してきました。

本年度は内容はそのままに「実践研究入門講座」と名称を改め、都道府県社会福祉士会会員が本会の社会福祉士学会で日頃の実践をまとめて発表したり、研究誌『社会福祉士』に論文・実践報告として投稿する際の方法や考え方などを学びます。たとえ発表や論文執筆がゴールでなくても、日々の実践に研究的な視点を持ちながらあたる姿勢は「最良の実践を行う責務」（倫理綱領）の具現化でもあります。限られた時間ですが、マンネリを打破し、研究的要素を加味した実践を志向している方、発表や執筆を通して日々の実践を総括してみたい方は、是非ご参加ください。

1. 日 時：2013年7月6日（土）9：15～11：45
2. 会 場：アイーナ8F 812研修室
3. プログラム：

時 間	内 容	講 師
9：00	受付開始	長岩 嘉文 (学会運営委員会 委員)
9：15	オリエンテーション 実践研究のアウトラインとシミュレーション（講義と演習）	
11：45	終了	

4. 対 象 者：都道府県社会福祉士会会員の方のみご参加いただけます。（入会手続き中を含む）
5. 定 員：先着50名
6. 参 加 費：2,500円（資料代込）
7. 申込方法：申込書に必要事項を記入のうえ、郵便またはFAXにてお申し込みください。
（郵送の場合には申込書のコピーを送付し、原本はお控えください。お電話での申し込みは、受け付けません）
8. 申込締切：2013年4月19日（金）（※申込期限にかかわらず、定員に達し次第、締切とさせていただきます。）
9. 受講決定：受講の可否については、4月30日頃までに郵便にてご連絡します。会場案内、参加費の納入方法およびキャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご連絡します。
10. 申し込み先：(社)日本社会福祉士会 事務局 担当：楠本（くすもと）
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13カタオカビル2階 TEL:03-3355-6541 FAX:03-3355-6543

実践研究入門講座 申込書 (FAX: 03-3355-6543)

氏 名	ふりがな 氏 名 （男・女）
会 員 番 号	
連絡先・送付先住所 (<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先)	住所：〒_____
勤務先名	
業務種別	
連絡先電話番号	※平日の日中に連絡のつく番号をご記入ください。
E-mail アドレス	
受講にあたって配慮が必要な ことなどをご記入ください。	

第21回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（岩手大会）
参加登録・分科会・懇親会・昼食弁当・宿泊プラン・視察旅行
お申込み手続きのご案内

大会開催期日：2013年7月6日（土）～7月7日（日） 2日間

大会開催会場：盛岡市民文化ホール

「第21回日本社会福祉士全国大会・社会福祉士学会」が岩手県盛岡市で開催されますことを心よりお喜び申し上げます。大会事務局様からのご指示に基づき、大会参加に関わる各種申込手続きをJTB東北法人営業盛岡支店が担当させていただくことになりました。大会のご成功に向け精一杯のお手伝いをさせていただきます。多数のご参加を心よりお待ちしております。

(株)JTB東北 法人営業盛岡支店
支店長 菅原 実

1. お申込み方法のご案内

本大会申込WEBサイトよりお申込みいただくか、または別紙申込書（32ページ）に必要事項をご記入のうえ、JTB東北 ECデスクへFAXまたは郵送にて直接お申込み下さい。
電話でのお申込みは承れません。

《WEBでお申込みの場合、3月15日よりお申込み可能です。》

<http://www.iwate-csw.or.jp/>

- ①WEBでお申込の場合、WEB上でクレジットカード清算又は指定の口座へお振込み願います。
お支払い後、各参加証を発行することが可能となります。

《FAXまたは郵送にてお申込みの場合》

参加登録申込書は、宿泊と昼食の申込書も兼ねておりますので、参加登録と同時に申込みをお願い致します。

FAXまたは郵送にて送信の場合、誠にお手数ですが、
着信確認のご連絡をフリーダイヤル0120-989-960まで、お願い致します。

申込締切 : 2013年5月31日（金）までに必着でお願い致します

※お申込の際には分科会、ホテルの第二希望もご記入ください。

- ①2013年6月中旬に、お申込代表者のご連絡先宛、予約関係確認書類及び請求書を発送致します。それ以前に予約状況を確認したい方は、お電話にて下記お問い合わせ先へご連絡ください。
- ②請求書に記載の銀行口座へ指定の期日まで費用のお振込をお願い致します。
(振込手数料はご負担願います。)

※お申込後に、変更・取消される場合、各申込項目毎に取消料を申し受けます。
以下「8. 変更・取消について」の項をご確認ください。

2. 参加登録について (募集型企画旅行契約には該当しません)

■参加費 会員：お一人様 9,000円
一般：お一人様 10,000円
学生：お一人様 4,000円

※ご入会手続き中の方は会員扱いとなります。

※参加費入金後の取消や大会当日欠席の場合、参加費の返金はございません。

3. 分科会について (募集型企画旅行契約には該当しません)

期 日：2013年7月7日(日)

<A分科会>「共生社会の創造～権利擁護の現状と課題」(社会福祉士がとらえる「権利擁護」)

会場：マリオス18F 183～186会議室

<B分科会>「共生社会の創造～生活構造の理解」(社会福祉士がとらえる「生活構造」)

会場：マリオス18F 188会議室

<C分科会>「共生社会の創造～ソーシャルワークが果たす役割～」(社会福祉士がとらえる「相談援助」)

会場：アイーナ8F 803会議室

<D分科会>「共生社会の創造～地域の力と地域開発」(社会福祉士がとらえる「地域支援」)

会場：アイーナ8F 804A会議室

<E分科会>「共生社会の創造～これからの福祉経営」(社会福祉士がとらえる「福祉経営」)

会場：アイーナ8F 804B会議室

<F分科会>「共生社会の創造～実践とその方法の見える化を目指す」(社会福祉士がとらえる「実践研究」)

会場：ホテルメトロポリタン盛岡4F 岩手の間

<G分科会>「自主企画シンポジウム」

会場：ホテルメトロポリタン盛岡4F 姫神の間

<H分科会> 岩手特別分科会「共生社会を目指して～被災県民の生活を支えるネットワークと新たな挑戦」

会場：アイーナ8F 812会議室

<I分科会> 海外研修報告会

会場：ホテルメトロポリタン盛岡4F 早池峰の間

4. 懇親会について (募集型企画旅行契約には該当しません)

期 日：2013年7月6日(土)

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING (ニューウイング) 4階メトロホール

料 金：8,000円

※3月末までのお申込の場合は早期割引きとして7,000円となります。

※お申込後にお送りする予約確認書を、受付にてご提示ください。

5. 昼食弁当について (募集型企画旅行契約には該当しません)

期 日：2013年7月7日 (日)

料 金：1,000円 (お茶付き・税込み)

※会場付近の食事施設は混み合いますので、お弁当のお申込みをお勧めします。

※お弁当は会場にてお渡し致します。お申込み後にお送りする予約確認書を、受付にてご提示ください。
空箱回収もおこないます。引渡し時にお伝えする指定場所、時間に返却のご協力をお願い致します。

6. 宿泊プランについて (募集型企画旅行契約)

JTB東北がお手伝いさせていただきます。以下の旅行条件書 (要約) をご確認の上、申込書に必要事項を記載の上お申込みください。

宿 泊 日：2013年7月5日 (金)・6 (土)・7日 (日) 3泊

宿泊条件：1泊朝食付、サービス料税金込、お一人様あたりの料金

※ツインのご旅行代金は、ツインルームを2名様でご利用の場合、お一人あたりの料金です。

※特定のホテル及び部屋タイプに、ご希望が集中する場合がございます。その際は、ご相談の上、ご希望以外の他の上記施設をご案内させていただく場合がございますのでご了承下さい。(第2希望まで必ずご記入下さい。)

※朝食が不要の場合でも特別設定料金のため、ご返金はできません。個人勘定及びこれに伴うサービス料金と諸税は各自ご清算願います。

添 乗 員：同行いたしません。宿泊施設フロントにて後日送付する宿泊券をお渡しください。

最少催行人員：1名様

ホテル名	部屋タイプ	宿泊代金	申込記号	アクセス
ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING	シングル	12,000円	1-S	盛岡駅より徒歩3分
	ツイン	11,000円	1-T	
ホテルメトロポリタン盛岡 本館	シングル	9,200円	2-S	盛岡駅より徒歩1分
	ツイン	9,000円	2-T	
ホテル東日本盛岡	シングル	8,800円	3-S	盛岡駅より徒歩5分
	ツイン	7,800円	3-T	
ホテルルートイン 盛岡駅前	シングル	7,000円	4-S	盛岡駅南出口より徒歩1分
	ツイン	5,800円	4-T	
東横イン盛岡駅前	シングル	6,300円	5-S	盛岡駅より徒歩2分
盛岡ニューシティホテル	シングル	6,800円	6-S	盛岡駅より徒歩3分
	ツイン	5,400円	6-T	
盛岡シティホテル	シングル	6,300円	7-S	盛岡駅より徒歩2分
	ツイン	5,400円	7-T	
東横イン盛岡駅南口駅前	シングル	6,300円	8-S	盛岡駅南出口より徒歩3分
ホテルニューカーリーナ	シングル	8,200円	9-S	盛岡駅より徒歩12分 盛岡駅よりタクシー5分
	ツイン	7,800円	9-T	
ホテルロイヤル盛岡	シングル	10,500円	10-S	盛岡駅より徒歩13分 盛岡駅よりタクシー6分
	ツイン	8,800円	10-T	
ダイワロイネットホテル盛岡	シングル	8,000円	11-S	盛岡駅より徒歩15分 盛岡駅よりタクシー7分

お申込後にお送りする予約確認書をホテルフロントでご提示の上、チェックイン手続きをお願いいたします。



お詫びと訂正

P29～P30、申込書に記載誤りがございましたので訂正させていただきます。何卒ご了承下さい。

申込書について

「宿泊航空セットプラン」について今回は設定がございません。

7. オプションツアーについて (募集型企画旅行契約)

JTB東北がお手伝いさせていただきます。下記の旅行条件書(要約)をご確認の上、申込書に必要事項を記載の上お申込みください。

<Aコース>

(お一人様ご旅行代金) 26,000円/募集人員:40名様・最少催行人員:20名様

食事:朝食1回、昼食1回、夕食1回 添乗員同行

7月7日 (日)	マリオス前発=====やまびこ産直館(休憩)=====ホテル着 15:45 発 (下車) 18:00 頃 ご宿泊:宮古市内(宮古セントラルホテル熊安)
7月8日 (月)	ホテル発===== 田老防潮堤とたろう観光ホテル ===== 浄土ヶ浜~~~~浄土ヶ浜 8:30 9:00(ボランティアによるご説明) 10:00 10:30 遊覧船 11:10 (下車)散策=====昼食(浄土ヶ浜パークホテル)=====山田町:施設見学=====盛岡駅 12:20 12:50 (入場) 14:00 16:00 頃

表示例:=====貸切バス *上記行程は気象状況や道路事情により変更となる場合があります。
~~~~~船

#### <Bコース>

(お一人様ご旅行代金) 20,000円/募集人員:40名様・最少催行人員:20名様

食事:朝食1回、夕食1回 添乗員は同行しません。

|             |                                                                                                                                                                                                |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7月7日<br>(日) | マリオス前発=====釜石着後ホテルチェックイン=====釜石市内にて地区会員と<br>15:45 発 18:00 頃 18:30 懇談会・夕食会<br>映像と説明、食事仕出し<br>ご宿泊:釜石市内(ホテルマルエ又は宝来館)                                                                              |
| 7月8日<br>(月) | ホテル発=====鶴住居小防災センター=====館の下仮設住宅、身障者用仮設住宅<br>9:00 発 9:30 (下車) 10:00 10:30 (下車) 11:30<br>屋台村(昼食)=====陸前高田:奇跡の一本松=====気仙沼=====一ノ関駅<br>11:40 12:30 13:30 (下車) 14:00 14:30 15:45 着<br>各自でお召し上がり下さい。 |

表示例:=====貸切バス \*上記行程は気象状況や道路事情により変更となる場合があります。

- お申込は申込受付順とし、満員になり次第、締切とさせていただきます。
- 申込人員が最少催行人員に満たない時は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって13日目に当たる日より前(日帰り旅行に関しては3日目に当たる日より前)に旅行中止のご通知を致します。
- 旅行費用含まれるもの:旅行日程に明示した貸切バス代それともなう有料道路・駐車場代、もしくは運送機関料、食事費用、入場料(行程に記載されているもの)、宿泊費(2日間コースのみ)が含まれております。
- Aコースのお部屋は洋室1名1室利用となります。
- Bコースのお部屋は、宝来館の場合和室3~5名1室利用の相部屋となります。ホテルマルエの場合洋室の1名1室利用となります。尚、ホテルマルエの客室にはバス、トイレがございません。  
申込書ご記入の際、宝来館ご希望の場合はB-①、ホテルマルエご希望の場合は、B-②とご記入下さい。
- 行程は交通状況により、時間が変更になる場合がございますので、接続の列車等の予約をされる場合は余裕を持ってお願い致します。遅延による交通機関の取消料に関して、当方では負担できません。ご了承の程、お願い致します。

## 8. 変更・取消について

①お申込み後の取消及び変更は、必ずFAX又は郵送にてJTB東北 ECデスクにご連絡ください。

- ・取消基準日は、FAXの通信日、又は郵便局の「消印日」と致しますので、必ず書面にてご連絡ください。
- ・旅行開始後の取消し連絡は電話にて受けたまわります。

②お申込み後の取消につきましては各取消料を申し受けます。ご入金後のご返金は、変更・取消にて生じた変更・取消料を差し引いた金額を、大会終了後、銀行振込にてご返金させていただきます。

**※大会参加費については、ご入金後の返金は致しかねます。ご了承ください。**

【変更・取消料】(受付日は当社受付時間内とさせていただきます)

・懇親会・昼食弁当 (募集型企画旅行契約には該当しません)

| 解除の日   | 懇親会      | 昼食弁当    |
|--------|----------|---------|
| 3日前まで  | 無料       | 無料      |
| 前々日    | 懇親会費の50% | 弁当代の50% |
| 前日     | 100%     | 100%    |
| 当日及び不泊 | 100%     | 100%    |

・宿泊プランおよびオプションツアー (募集型企画旅行契約)

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除される場合は、次の金額を取消料として申し受けます。

| 契約解除の日               |                                           | 宿泊プラン      | オプションツアー   |
|----------------------|-------------------------------------------|------------|------------|
|                      |                                           | 取消料 (お1人様) | 取消料 (お1人様) |
| 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって | 1. 21日目にあたる日以前の解除<br>(日帰り旅行にあつては11日目)     | 無料         | 無料         |
|                      | 2. 20日目(日帰り旅行にあつては10日目)にあたる日以降の解除(3~6を除く) | 旅行代金の20%   | 旅行代金の20%   |
|                      | 3. 7日目にあたる日以降の解除(4~6を除く)                  | 旅行代金の30%   | 旅行代金の30%   |
| /                    | 4. 旅行開始日の前日の解除                            | 旅行代金の40%   | 旅行代金の40%   |
|                      | 5. 当日の解除(6を除く)                            | 旅行代金の50%   | 旅行代金の50%   |
|                      | 6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加                       | 旅行代金の100%  | 旅行代金の100%  |

## 9. 個人情報の取扱いについて

当社は今回の大会お申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡に利用させていただくほか、お申込みいただいた運送・宿泊等の提供するサービス受領のための手続きに必要な範囲内でのみ利用させていただきます。合わせて、大会事務局に提出させていただきます。それ以外の目的で利用することはありません。個人情報の管理には当社個人情報保護方針にもとづき適切な体制で臨んでおります。お申込書のFAX到着後の個人情報の管理には充分注意をしておりますが、FAXを送信される際はくれぐれも誤送信等、ご注意ください。

### 【お申し込み先・お問い合わせ先】(受託販売)

(株)JTBビジネスネットワーク JTB東北ECデスク「第21回日本社会福祉士会全国大会」係 宛  
フリーダイヤル TEL: 0120-989-960 FAX: 0120-937-224

E-mail: tohoku-ec@jbn.jtb.jp 営業時間: 土日祝(年末年始)除く平日 9:30~17:30

住所: 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7F

観光庁長官登録旅行業 第64号 (株)ジェイティービー 代理業東京都知事登録旅行者代理業第10718号

旅行業務取扱管理者: 中根 三千郎

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引に関する責任者です。  
この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお訊ねください。

### 【旅行企画実施】株式会社JTB東北 法人営業盛岡支店

〒020-8525 岩手県盛岡市内丸2-5

観光庁長官登録旅行業第1573号 一般社団法人日本旅行業協会正会員/旅行業公正取引協議会会員



## ■ご旅行条件書 要約（募集型企画旅行契約）・・・宿泊プラン・視察旅行

お申込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をご確認いただき、事前に内容をご確認の上お申込みください。  
旅行条件書（全文）はこちらよりご確認ください。【<http://www.jtb.co.jp/operate/jyoken/acedom.asp>】

### ●募集型企画旅行契約

この旅行は㈱JTB東北 法人営業盛岡支店（岩手県盛岡市内丸2-5、観光庁長官登録旅行業第1573号、以下「当社」という）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」という）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

### ●旅行のお申込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、お申込みください。
- (2) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。但し、本契約に関しましては、後日送付する請求書に基づく旅行代金のお振込が完了した時点で、旅行契約が成立したものとします。

### ●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって13日目にあたる日より前（もしくは当社が指定する期日までに）にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

### ●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記に記載の金額を取消料として申し受けます。

### ●旅行代金に含まれるもの

各旅行日程およびご案内に明示した運送機関の運賃・料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）、宿泊費、食事代、及び消費税等諸税これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。  
（コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。）

### ●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

- ・ 死亡補償金：1500万円
- ・ 入院見舞金：2～20万円
- ・ 通院見舞金：1～5万円
- ・ 携行品損害補償金：お客様1名につき～15万円（但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。）

身体外部から有毒ガス又は有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収又は摂取したときに急激に生ずる中毒症状（継続的に吸入、吸収又は摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。）を含みます。ただし、細菌性食物中毒は含みません。＜免責事項＞

### ●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員（以下「会員」といいます。）より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと（以下「通信契約」といいます。）を条件にお申込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。

- (1) 契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき（e-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様の到達したとき）とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。
- (2) 「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。（但し、成立日が旅行開始前日から14日目にあたる日より前の場合は「14日目（休業日にあたる場合は翌営業日）」とします。）また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。（但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として払い戻します。）
- (3) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

### ●国内旅行保険への加入について

旅行先において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で十分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、お問合せください。

### ●事故等のお申し出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込個所にご通知ください。（もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次のご通知ください。）

### ●個人情報の取扱いについて

当社は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び、それらのサービス受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。また、大会運営に伴い大会主催事務局へ情報を提出し利用させていただきます。

### ●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2013年1月20日現在を基準としています。又、旅行代金は2013年1月20日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

旅行企画・実施 株式会社JTB東北法人営業盛岡支店  
観光庁長官登録旅行業第1573号  
日本旅行業協会正会員  
〒020-8525 岩手県盛岡市内丸2-5  
TEL 019-651-7474/FAX 019-623-4425  
総合旅行業務取扱管理者：浦上 博行

「第21回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(岩手大会)」

【参加登録・分科会・懇親会・昼食弁当・宿泊プラン・宿泊航空セットプラン・オブショナルツアー 申込書】

<FAX送信先> JTB東北ECデスク  
 FAX: 0120-937-224  
 申込期限: 5月31日(金)

|       |                        |      |                           |  |
|-------|------------------------|------|---------------------------|--|
| 都道府県名 | 申込代表者名                 | 会員番号 | *入会手続き中の方は、「手続き中」とご記入下さい。 |  |
| 勤務先   | <勤務先名><br>住所 〒         | 電話番号 | ご希望の方のみ○して下さい。            |  |
|       |                        | FAX  | 手話通訳・介助・車椅子・その他( )        |  |
| 書類送付先 | 上記と異なる場合ご記入下さい 〒       |      |                           |  |
|       | 電話番号: - - - FAX: - - - |      |                           |  |

| No | フリガナ氏名           | 性別  | 参加費<br>会員 ¥9,000<br>一般 ¥10,000<br>学生 ¥4,000 | 会員番号<br>(会員の方) | 懇親会<br>8,000円 | 7/7分科会 |      | 宿泊プラン |      |      |               | オブショナルツアー |      | 備考<br>禁煙・喫煙希望等 |
|----|------------------|-----|---------------------------------------------|----------------|---------------|--------|------|-------|------|------|---------------|-----------|------|----------------|
|    |                  |     |                                             |                |               | 第一希望   | 第二希望 | 7月5日  | 7月6日 | 7月7日 | 第二希望<br>ホテル記号 | 同室希望者名    | 申込記号 |                |
| 例  | イワテ タロウ<br>岩手 太郎 | 男   | 会員                                          | 12345          | ○             |        |      | 1-T   |      |      |               |           | A    |                |
| 1  |                  | 男・女 |                                             |                |               |        |      |       |      |      |               |           |      |                |
| 2  |                  | 男・女 |                                             |                |               |        |      |       |      |      |               |           |      |                |
| 3  |                  | 男・女 |                                             |                |               |        |      |       |      |      |               |           |      |                |
| 4  |                  | 男・女 |                                             |                |               |        |      |       |      |      |               |           |      |                |
| 5  |                  | 男・女 |                                             |                |               |        |      |       |      |      |               |           |      |                |

※別紙記載の旅行条件書をご確認の上お申込下さい。  
 ※参加費は大会事務局の依頼によりJTB東北協が事務代行を致します。参加費については旅行契約には該当致しません。

第21回大会

# 日本社会福祉士会全国大会 岩手 社会福祉士学会 大会



岩手大会  
マスコットキャラクター



大会テーマ

## 共生社会の創造

### 参加と自立を実現する地域社会とは

浄土ヶ浜遊覧船(宮古市)

## 2013年

# 7月6日土・7日日

メイン会場

## 盛岡市民文化ホール(マリオス)

(盛岡市盛岡駅西通2-9-1)

### 参加定員:1000名

参加対象  
及び  
参加費

- 日本社会福祉士会会員 9,000円
- 一般 10,000円
- 学生 4,000円

※入会手続き中の方は、会員扱いとなります。1日だけの参加も上記金額となります。

主催

社団法人 日本社会福祉士会  
社団法人 岩手県社会福祉士会

## プログラム

第1日目 7月6日 盛岡市民文化ホール(マリオス)  
盛岡市盛岡駅西通2-9-1

13:00~13:50

講演 「福祉行政について」  
講師 厚生労働省 社会・援護局

13:50~14:50

基調講演 「共生社会の創造  
～参加と自立を実現する社会とは～」  
講師 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授  
平野 隆之

15:05~17:45

シンポジウム 「共生社会の創造  
～参加と自立を実現する社会とは～」

コーディネーター ●日本福祉大学 教授 平野 隆之  
●NPO法人 代表 日置 真世

シンポジスト ●岩手県立高田病院 院長 石木 幹人  
●岩手県立大学 教授 狩野 徹  
●岩手県社会福祉士会 ヒソツ工房 阿部 孝司

第2日目 7月7日 盛岡市民文化ホール(マリオス)  
いわて県情報交流センター(アイーナ)  
ホテルメトロポリタン盛岡

9:30~12:30 分科会

13:30~15:00

記念講演 「浄土思想から見る共生社会・  
共生世界観について」  
講師 毛越寺執事長 藤里 明久

浄土ヶ浜(宮古市)



Iwate Association of Certified Social Workers

日本社会福祉士会全国大会ホームページ <http://www.iwate-csw.or.jp/>

お問い合わせ

社団法人 岩手県社会福祉士会

〒020-0134 岩手県盛岡市南青山13-30  
TEL 019-648-1411 FAX 019-648-1412

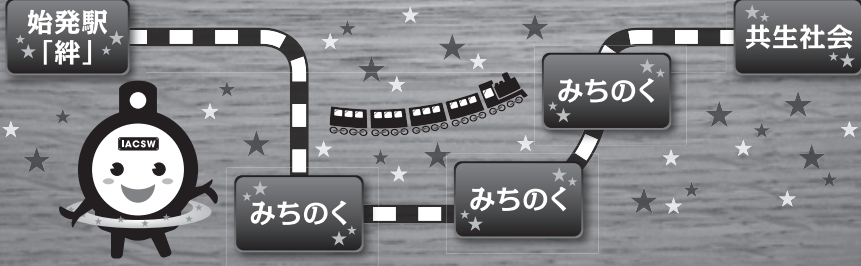
E-mail: [aoyama@wakeisou.or.jp](mailto:aoyama@wakeisou.or.jp)  
URL: <http://www.wakeisou.or.jp/>

第21回大会 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会

# ぎんつく☆トラベル

Vol.2

—「絆」発→「みちのく」経由→「共生社会」行—



## 奇跡の一本松(陸前高田市)

東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)の津波に耐えて残ったことで「希望の松」として復興のシンボルになった1本の松。背後に見えるのは被災した陸前高田ユースホテルの建物。

## 沿岸

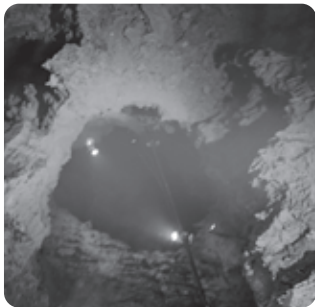
### うにっちエリア

●今回は、おもっちがリーダーとなり「県南」をご案内します。

「いわて三陸」と称される事でも全国的に有名な岩手県沿岸は、新鮮な海産物の宝庫です。いわて三陸の北方から南方まで、各地それぞれ海の幸が味わえるのはもちろん、三陸特有の地形が創り出す景観には、ただただ圧倒されるばかりです。心地よい潮風に乗ってくる海の香りと、心地よい波の音が時の経つのを忘れさせます。

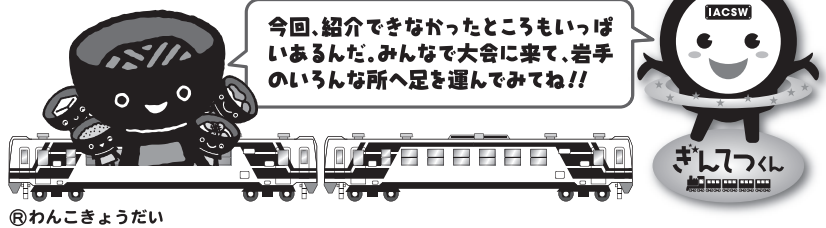
## 龍泉洞(岩泉町)

龍泉洞は、日本三大鍾乳洞に数えられ、国の天然記念物に指定されています。洞内はすでに知られているところだけでも、2500m以上あり、現在も調査が続けられています。その全容は5000m以上に達すると推定されています。また、その奥から湧き出る清水が数箇所をわたって深い地底湖を形成しており、中でも第3地底湖は推定98m、第4地底湖(未公開)は120mと日本一で、世界でも有数の透明度を誇っています。さあ未知なるドラゴンブルーの世界へ。



## 浄土ヶ浜(宮古市)

浄土ヶ浜の地名は約300年前に宮古山常安寺七世の霊鏡和尚が「さながら極楽浄土のごとし」と感嘆したことから名づけられました。平成8年には日本の渚百選、平成12年には日本の水浴場88選に、さらに平成13年には日本のかおり風景百選に選定されています。



©わんこきょうだい

## お申込の手順(流れ) ※お電話によるお申込みは、一切お受けできませんので予めご了承ください。

締切り平成25年5月31日(金)

FAX・郵送による申込みの方、申込書は開催要項内にあります

WEBによる申込みの方  
大会WEBサイト(岩手県社会福祉士会ホームページ内)  
<http://www.iwate-csw.or.jp/>

参加申込書到着後、『参加登録完了通知・請求書コピー』FAX・郵送にて返信

『大会参加券・各種参加券・請求書(原本)』発送

期日までに必ずご入金くださいませ。(入金確認時点で契約成立となります)